

本年は、倉橋惣三先生の没後十年の年である。

先生の幼児教育界にのこされた業績は、きわめて大きいのであるが、最近、その著書が絶版になっていたので、今回、倉橋惣三選集として、三巻になってフレールベル館より出版されることになった。これは、私も幼児教育関係者にとって、たいへん嬉しいことである。先生の書物をよまれるならば、心の中にまたあらたに、幼児を見る眼を開かれるであろう。幼稚園、保育園、ひろく幼児教育にたずさわる方々に、必読の書としておすすめしたい。

この夏には、また、倉橋惣三先生の業績を記念して、お茶の水女子大学で行なわれた、日本幼稚園協会主催の夏の講習会で、『倉橋惣三の思想と生活』と題して、講演が行なわれた。

七月二十二日の第一日、及川ふみ、津守真、七月二十三日は、山下俊郎、七月二十五日は、坂元彦太郎の諸氏により、それぞれの立場より、興味深い講演であった。

本号では、このうちから、及川、津守の二つの講演を掲載し、あわせて、それに関連して、初期の誘導保育の実践記録を二篇掲載した。これはいずれも、大正七年、大正十四年という、きわめて古い時代のものであるが、その当時としては、よくもこれだけ新しい感覚でなされたものだと感心する。いま読んで興味深いものであると思う。

\* \* \*

いま、この後記を記しているのは、暑い夏の最中で、蟬の鳴声が耳の底にまで響いている。これが読者のところにとどくのは、もう、涼しい風の吹き渡る気持ちのよい季節であろう。汗をふきふき、講習会や研究会に参加して忙がしくするのもよいが、ゆったりと静寂をたのしむ時間も、努めればだれにでも与えられるものであると思う。

心しずかに、幼児に接する態度を練ることも、私どもにとって欠くことのできないものであろう。

## 幼児の教育 第六十四巻 第十号

十月号 © 定価六〇円

昭和四十年九月二十五日 印刷

昭和四十年十月 一日 発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

編集兼 津 守 真  
発行者

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレールベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所フレールベル館にお願いいたします。